

海蔵あくら

四日市市立海蔵小学校
校長室だより
令和4年6月24日
第6号
文責 校長 柳川洋史

6月TOPIX 「水遊び」「水泳運動」

6月13日(月)、プール開きました。朝はまだ肌寒く感じる日もありますが、子どもたちは楽しみにしていたことと思います。

一年ぶりのプールということもあり、タオルのかけ方、外したマスクの置き方、並び方などを確認してからのスタートです。はじめは、足をバタバタしたり、お腹に水をかけたりして、体を慣らしていきます。そのあと、いよいよ体全体を水の中に入れていきます…「ひゃー！」との声が聞こえてきました。梅雨の季節との闘いですが、去年の自分の記録を少しでも伸ばせるよう頑張してほしいものです。

どの教科においても、指導内容にかかわることは、文部科学省定めた「小学校学習指導要領」に基づいて進めています。

体育での、プールを使用した授業については、1～2年生は「水遊び」を主とし、3～6年生で「水泳運動」が入ってきます。

海蔵小学校では、水泳の導入学年である3年生体育の時間に、外部より水泳指導の専門家を招き、指導を受ける時間を設けています。今年は3名の方が来校されました。習熟度グループ別に実技指導がなされ、元気に水中で身体を動かす子どもたちの様子がありました。

別日に、2年生と4年生対象、水難事故防止に向けた着衣水泳の実技指導が行われます。

海蔵川ブイ点検

6月19日(日)、海蔵地区青少年育成協議会様を中心に、海蔵地区各種団体が協力しあって「海蔵川危険防止ブイ点検」が実施されました。

海蔵地区では、過去に起こった水難事故をきっかけとして、校区内を流れる海蔵川岸壁に、約100個のブイが設置されています。海蔵地区青少年育成協議会の方に代々設置や管理を行っていただき、海蔵小 PTA 会長・顧問・校外補導部・教職員も参加させていただきました。

川べりには藻や雑草が生い茂っているため、川の中から岸に登るのは大人でも難しい状態です。子どもたちだけで行動していた時に溺れてしまった際に、助け合おうとして二重三重の事故にもつながりかねません。昨年度も、近隣の河川で



尊い命が失われる事故が発生しました。

万が一の時の補助具として、ブイが、地面にしっかりと打ち付けられた杭にロープでつなげられています。本日は、ロープを交換し、実際に川に投げこんでみるなどの安全確認を行いました。実際に届くのは、大人が投げて、川幅の三分の一ぐらいの距離でした

学校では、川に転落すると危険なので近づかないように指導していますが、それでも事故が起きてしまうことがあります。

ぜひご家庭でも、地域の取り組みをお伝えしていただくとともに、水難事故から身を守る話をする機会を設けていただければと思います。



自然教室のねらい

宿泊行事のねらいは、「自然の中での集団宿泊的活動などの平素と異なる生活環境にあって、見聞を広め、自然や文化などに親しむとともに、よりよい人間関係を築くなどの集団生活の在り方や公衆道徳などについての体験を積む」(学習指導要領より)ことです。

国立青少年教育振興機構の「報告書」によると、とくに日本の青少年は、思春期になると自己肯定感が低いことが課題であるという調査結果が発表されています。そして、自然体験や生活体験が豊かな子どもほど自律的行動習慣が身についていく子どもが多く、自己肯定感も高くなっているという結果も示されています。この教育目的を含め、四日市市では、全小学校5年生に「自然教室」を教育計画に位置付け実施されています。(※昨年度は、新型コロナウイルス感染症拡大状況に応じ、2日間または日帰りで実施。今年度も状況に応じ変更等になる場合があります)

海蔵小学校5年生も、6月30日～7月1日に、自然教室を予定しています。

目標は3つ

- ① 自然の中での活動を通して、自然に親しみ、自然を大切にする気持ちをもつ。
- ② 野外活動の中で、自分の役割を自覚し、考えて行動する。
- ③ 集団での宿泊生活を通して、なにかま意識を高める。

ウォークラリー、カヤック、キャンプファイヤー、野外炊事等の活動体験を通して目標達成できるよう、担任団が、自然の家職員との打ち合わせ、現地を見を重ねています。



自然の家での宿泊は、サービス満点のホテル宿泊とは、意味合いが違います。この時間は、自分にとっては自分であることであり、互いに気づいたことは声を掛け合い協力するという時間を過ごします。この当たり前のことが意外に難しく、また、極めて重要な学びがあると考えます。

今年の自然教室でも、一人ひとりの子どもがたくさん心と体のお土産を持って帰ることを楽しみにしています。

海蔵小学校ホームページ
www.yokkaichi.ed.jp/~kaizo/cms2/htdocs
「海蔵小学校」で検索してください。
スマートフォンでも見ることができます。

“学校のようす”のページで、ほぼ毎日、子ども達の様子をお伝えしています。ぜひご覧ください。

“校長室だより”も掲載しています。
PWは「pkaizo」です。